

権力弾圧弾劾！全員の仲間の尊厳を勝ちとろう！

関生支部連帯！大阪府警本部前抗議行動

昨年から続く関西生コン支部への違法・不当な権力弾圧に対して、毎週土曜日の午後一時半から、関生支部の組合員や地域の労働組合、政党・市民

団体などが集まって、滋賀県警大津署前と大阪府警本部前での一時間ばかりの抗議行動が継続されています。

私たち港合同は「労働組合への権力弾圧を許さない」という立場から、抗議行動が始まった当初から参加・連帯してきました。

関西生コン支部にかけられた今回の弾圧は、文字通り労働運動に関わるすべての労働者に向けられた弾圧です。

「一面共闘、一面闘争」

の方針の下、労働組合が中心になって、中小零細の生コン業者を協同組合に団結させ、大手のゼネコンやセメントメーカーとの対等取引によって業界を安定させ、よって賃上げや労働条件を確立してきた産業政策運動を敵視し、また、憲法に保障された労働者の崇高な権

利である団結権に基づく実力闘争＝ストライキ権を暴力的に奪おうとする攻撃です。

昨年一月当初は、生コン協同組合の一部幹部が、差別・排外主義者を雇い、直接の襲撃とユーチューブ動画を活用した悪宣伝という新しの組合つぶしとして始まりましたが、思うような成果が上げられず、警察権力が前面に出て組合員を次々と逮捕・拘留しました。また各企業をまわって「関生と手



を切れ」「事件にできそうなネタを提供しろ」と、関生つぶし、国家をあげた不当労働行為に狂奔してきたのです。

しかし、この間でのべ逮捕者が六〇名を超えま

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



4/14～15港湾ストライキの報告をする全港湾の仲間

したが、三月二九日には七ヶ月の長期拘留をはね返して執行部一名が奪還され、残る拘留された仲間九名になりました。

そして大津地裁での裁判も、経営側も含めた証人調べの中で、弾圧の違

法・不当性が明らかとなり、むしろ関生支部と業界が一体となって進める産業政策運動の正当性が際立つものになっていきます。

何よりも、この常軌を逸する弾圧が、多くの労働組合、市民運動、弁護士や学者などに危機感を与え、「関生を守れ」「共謀罪の先取り弾圧を許すな」と、怒りの声と運動が広がっています。憲法二八条そのものを否定してくる今回の弾圧は安倍政権が進める憲法改悪そのものです。時を同じくして全港湾にも「集団交渉の否定」「事前協

議制の解体」に踏み込んできている事も同じです。

労働組合に対して、今一斉に国家権力と資本が襲いかかっています。

港合同もこれまで、南労会ストライキに対する九六年の二・二〇大弾圧や、サンコーの自己破産突破闘争における〇三年雇用保険詐欺でつち上げ弾圧など、数々の権力弾圧を、地域をあげた官民の仲間の支援・連帯の力で乗り越え、勝利してきました。

権力弾圧は組織と運動に対する組織破壊・分断攻撃です。

今の時代は、資本・経営だけが金儲けするため、労働者をトコトン低賃金・強労働、無権利、総非正規・解雇してきます。そうした中で労働者が労働組合をつくり、団結して闘うことは、即弾圧との闘いになります。

関西生コン支部への弾圧を許さない闘いは、私たち労働者の生活と権利を守る闘いそのものです。

弾圧粉碎へ闘う関西生コン支部の組合員と団結して、拘留された仲間の全員の奪還に向け、共に闘いぬこう！

昌一金属支部 K

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！